

CERRESA

NO.208



特集 新春メッセージ

セラサ
1

<http://www.jaceresa.or.jp/>

2015.January

Contents

特集 新春メッセージ	3
川崎探検隊 宮内を歩く	8
PICK UP	10
逸 クレイアートで花の美しさを表現 宮前区 白井 志津子さん	14
Hand 地域と共生する都市農業を 高津区 萩原 完二さん	15
パワー全開 ブランドと我が家の味を守り継ぐ 多摩区 岸 靖展さん	16
食農NOU レモン	17
農作業ノート アルストロメリアの切花栽培について 営農技術顧問 志村 隆	18
暮らしNAVI ● 健康百科 ●	19
mail box & クロスワードパズル	20
J Aからのお知らせ & 組織だより 原支部・馬場支部	21
INFORMATION	22
enjoy 菅支部 民謡グループ	23
Dish Up! サーモンなます 川崎区 五十嵐 光子さん	24

2月の行事予定

4日(水)	第2回総代・組織リーダー研修会 (15時～、本店)
10日(火)	全国家の光大会 (パシフィコ横浜国立大ホール)
11日(水)	建国記念の日
17日(火)	定例理事会
26日(木)	組合員の集い (多摩市民館)

※日程等は変更されることがあります
【ATM臨時休止のお知らせ】
1/24(土)久地駅前支店のATMはシステム調整のため、
終日休止とさせていただきます

今月の表紙

初挑戦 ハウスイチゴ収穫最盛期

今月の表紙は高津区坂戸の武笠康浩さん。昨年、需要が高まっているイチゴに注目し、約12%の施設を新設。「紅ほっぺ」約8,000株を栽培しています。花苗物栽培で培った技術を生かし4,000株は自家栽培。初挑戦ながら出来映えは上々。通常のバック詰めのほか、「MUKASA ICHIGO」と記されたイチゴ型窓枠の化粧箱は贈答用としても人気です。自家販売のほか、セレスアモスとJR南武線武蔵溝ノ口駅前マルイファミリー溝口に出荷しています。





「川崎農業・生産者は大きな存在」

福田紀彦川崎市長×柴原組合長

市長就任1年目の年に市制90周年という大きな節目を迎えられた福田紀彦川崎市長。若き新リーダーはバイタリティーに溢れ、市内農業、地場産農畜産物にも熱い関心をもたれています。

新春企画として、当JA柴原代表理事組合長と市長就任2年目を迎えられた福田紀彦川崎市長に、「農」と「食」を中心に次世代につなげていきたい思いなどを語っていただきました。

(川崎市役所 市長応接室にて対談)



代表理事組合長 柴原 裕



川崎市長 福田 紀彦

大きな意義を持つ

食農教育

組合長 新年明けましておめでとう
ございます。本年も市内農業への
支援よろしく願っています。

市長 明けましておめでとうござ
います。本年もよろしく願いた
します。

組合長 昨年は、市制90周年、さら
に市長就任一年目の年でありまし
が、順調に市政運営も進められ、充
実した一年となったのではないでし
ょうか。川崎市民の一人として喜ば
しく感じております。市内農業につ
いても常日頃よりご理解いただき、
お礼を申し上げます。

市長 ありがとうございます。JA
や農家の皆さんには食農教育の面
で大変ご尽力いただき、感謝して
おり



ます。つい、「食育」と言ってしまう
のですが、JAでは農業理解を含め
「食農」という表現ですよね。

組合長 そうですね。「食べること」
と「農業」を関連づけて学んでいく
ことから、そう表現をしています。
子どもたちは一連の作業体験を通し
作物の生長に感激しています。また、
野菜嫌いのお子さんも自分で育てる
ことよって「おいしい」、と言っ
て食べるようになったという話も聞
いています。

市長 本当に子どもたちに貴重な
経験の場を設けていただいているこ
とに感謝いたします。JAが取り組
んでいる食農教育を通じ、子どもた
ちが都市部の貴重な農地で生産過程
の「農」に直接触れることは、大き
な意義があります。私は3人の子を
持つ親でもあります。私はずいぶん
体験を一回でも多くさせてあげたい
と思っています。川崎区のようにな
かなか畑を見る機会が無い子どもた
ちにも声をかけていただき、大変あ
りがたいです。

組合長 そう言っていただき、JA
の活動が評価されていることはうれ
しい限りです。

市長 子どももそうですが、大人
も土に触れる機会を求めています。
そうした機会が少なくなっているの
で、「ちよつと触ってみたい」と思っ
たのでしょうか。



生産者と消費者との

架け橋セレサモス

組合長 「触れる」という点では生
産者と消費者の出会場の場としてセ
レサモスは、おかげさまで皆さんか
ら好評をいただいています。一番は
生産者の名前が見えるという安心感
からの信頼が大きいと思っています。
食の安全、安心は誰しもが望むこと
です。そうした要望にセレサモスが
応えられていて、JAでもそうした
場として位置づけています。現在、
2号店の計画もしており、ご協力を
お願いするところがあります。よろ
しく願っています。

市長 セレサモスは多くの皆さん
から支持されていますね。私の住ん
でいる宮前区からは若干距離がある
かなと感じます。今度は宮前区内に

オープンを予定されているというこ
とで、これまで行きづらかった人た
ちも喜ばれるのではないですか。
現在のセレサモス同様、2号店も繁
盛間違いなしですね。

組合長 現在は、価格ベースで70%、
個数でいきますと、約80%が川崎産
となります。2店舗を開設すると当
初は、地場産率が若干落ちるだろう
と思っっています。出荷者をさらに募
るとともに、休耕地の活用や作付け
時期をずらすことなども呼びかけを
していきたいと考えています。

市長 端境期はどうしても避けら
れない部分です。セレサモスの
商品は地区名や生産者名が一目瞭然
に分かるようになっていて、常連さ
んになると「指名買い」みたいな形
で買われていく方も多いですね。
こうした関係は、本当に素晴らしい
です。セレサモスだからこそ出来
る、といってもいいのではないでし
ょうか。

組合長 そうなんです。多くの方が
リピーターであり、個々の生産者の
ファンでもあります。だからこそ、
JAとしては抜き打ちで残留農薬の
検査や生産履歴の確認を行い、信頼
いただける農畜産物の供給に責任を
もって取り組んでいます。

市長 セレサモスに並んでいる農
産物は、安全性はもうろんのこと、
なんと言ってもとれたて新鮮さがい



いですよね。先日、知り合いのレス
トランオーナーに川崎産のブロッコ
リーを持って行ったら「これ、生で
食べられますよ」って言うんです。
『えーっ、生で食べるの』って言い
ながら食べたらすごくおいしかった
です(笑)。とれたて新鮮なのでみず
みずしくて、びっくりしました。
組合長 まさにそれが「生産地と消
費者の近さ」という地の利ですね。
今日も、とれたて新鮮農産物をお持
ちしました。

の農家さんから「小松菜持って行く
か」って立派な小松菜をいただき、
正月におすましていただきました。
その小松菜もおいしかったのを覚え
ています。

次代に伝えたいこと

組合長 こうした農産物が自分たち
の住む街で生産されている、食べら
れるということは贅沢なことかもし
れませんね。

市長 食べることは全ての始まり、
命の源です。高度成長の時代を含め
て、早く安くといつて「大量生産・
大量消費」が当たり前のようになり、
生きる根拠である「食」そのものへ
の思いがおろそかになったような気



がしています。輸入食品の安全性の
問題に端を発し、今はそうした流れ
からの転換期にあると思います。消
費者が安全でおいしくて、栄養価が
高いというところを見つめ直してい
る今、親と一緒に子どもたちにも学
んでもらういい機会だと考えていま
す。こういう都市部でありながらも

そこで、行政やJA、教育委員会が
持っている力を出し合って、お互い
に協力して若い世代を育てていき
たいと考えています。

JAの協力で子どもたちが地元で学
べる環境を創り出していただしてい
るので、しっかりと学んで欲しいと
思います。私は公約の一つに「中学
校完全給食の導入」を掲げています。
一番力を入れていかななくてはいい
ことは、まさに「食育」「食農教
育」だと思っています。食生活が乱
れがちな中学生の時期にちゃんとし
た食事を摂る。あるいは「食」の基
礎を学ぶ必要があると思っています。

組合長 市長にそう言われますとJA
としても責任が重いですね。確かに
昔と違って街のなかにはファースト
フード店やファミリーレストランな
ど、外食産業が増え、便利さもあつ
て、食事のスタイルが大きく変わ
りました。また、家族一同で食卓を
囲む、という風景も少なくなってい
る気がします。さきほど、市長から
「大人も興味があるだろう」とのお
話もありましたが、ある小学校での
取り組みなのですが、ブロッコリー
は植えてから収穫までに3、4か月
かかります。植えた時からは想像出
来ない形になっている。何気なく食

べていた野菜がどんな過程を経て育つていくのかを目の当たりにすることで、「食」への関心を高めてもらいたいと、食農教育事業を展開しています。これからも積極的に展開していきたいと考えています。

ありのままだから

素晴らしい

市長 工業製品って1mmも狂わないことが重要ですよ。セラサモスの農産物は、同じものでも大きさや色が違ってきますよね。曲がったキウリがある。色も形も違う。生産者によって味も少し違う。そこがおもしろくもあり、「これが野菜だ」って感じるんです。

組合長 市場ですと均一された農産物が高く売れるわけですが、安全とか、新鮮とか、味とかがつてなると、そういう見た目だけの話ではないですよ。

市長 さきほど「転換期」と申しあげましたが、むしろ本来の姿・形を知らなかった、ということでもあります。自然のなかで育つ農産物は決して均一が当たり前ではなく、色や形が違うということがごく自然なことだ、と知ることが大切です。

組合長 均一した農産物を消費者が、当たり前のように求めた、という部分があるのでしょうか。自ら育てたものが曲がっていて他の人が見れば変でも、自分はおいしいと思って食べるはずですよ。そこにも「食農教育」の意義があるのかもしれない。

市長 そういう「あるがまま」と



いう価値がもっと尊重されなくてはいけないと思います。「地産地消」のすばらしさについても同じです。

組合長 朝どれは生き生きとした自然の香りというか、匂いを感じますよね。こうしたことも「地産地消」だからこそ、感じられることです。

市長 本当にそうですね。なんとも言えないいい匂いです。私は子ども頃、麻生区に住んでいて、家の近くに梨畑やブドウ畑があったんです。学校に行く途中にも畑が広がっていて、季節になると、菜の花が植えてあったのを今でも思い出します。今では住宅地へと変わりましたが、そうした風景が減ってきたことにやはり寂しさを感じています。

組合長 時代の流れが否応なしに今の都市化という環境を作り上げてきました。そんな「都市」という厳しい環境のなか、一生懸命に先祖代々の土地を守ろうと頑張っている後継者たちをJAでは、安心して農業に

取り組めるよう支援に邁進していきます。そして、その地に暮らす人たちにとって、農地が憩いの場になれば幸いです。

若き農業者の

熱い思いに感動

市長 以前、青壮年部の皆さんとお話した時に農業従事者としてのプライドをすごく感じ、うれしかったですね。確かに地方に比べると農地は狭いし、やれることも限られているかもしれないけれど、それでも少量多品種でいろんな物を作り出すという意欲がすごくある。「もっといい物を」「こんな品種にも挑戦してみよう」というチャレンジスピリットですね、そこにすごく感動しました。出来る限り全力で応援したいと思わせてくれる農業従事者が川崎にもいる。うれしかったし、もっと皆に知ってもらわなければいけない、という思いです。

組合長 若い農業者にとってこれ以上の励ましの言葉はありません。若い農業者たちの熱い思いをご理解いただき、本当にありがたいと感じています。都市部での農業はご存じのように厳しい環境です。そんななかでもバイタリティーを持って消費者





のニーズをつかみ、代々引き継がれてきた農地、農業を守ろうと、いろんなことにチャレンジしています。JAとしてもこうした若い人たちが安心して農業を続けていけるよう、これからもしっかりと、支援をしていきます。

市長 自然を相手にしている方々



だからこそ話していて楽しいし、あの意味、本音の話しが聞けるのだと思います。こうした対話によって、これからの相乗効果を生み出すことができる、と思っています。

組合長 ぜひ、これからも市内農業振興にお力添えをいただければ幸いです。

JA・農業は

欠かせない存在

市長 これまでお話させていたいただいたように、生きていくうえで根源である「食」の供給はもちろん、次世代に向けた食農教育活動などを

束ねていただいているのがJAであり、農家の皆さんです。出来る限り支援していきたいと思っています。私の子どもが通っている小学校にも農家の方が教えに来てくれるんです。子どもがお世話になった農家の方にお礼の手紙を書いている姿を見ると、「尊敬されているんだな」と、貴重な存在を痛感します。都市という厳しい環境で農業を営まれ、いい物を作りだしている。さらに地域のなかで教育までやっていただいている。本当にありがたいことで、感謝しています。

組合長 本当にうれしいことです。JAでも金融・共済事業を展開していますが、機関誌では農業や生産者の話題を中心に発信しています。

市長 広報誌も拝見しています。

農産物やレシピなどすぐに使える情報があっていいですよ。私は料理が趣味なので、掲載されているのを見て「やってみようかな」と思っているんですよ(笑)。

組合長 広報誌は組合員向けのほかにも地域住民向けにも発刊しています。そうした情報発信以外にもホームページがあるのですが、新しくリニューアルしましたので、ぜひ一度、ご覧になってください。

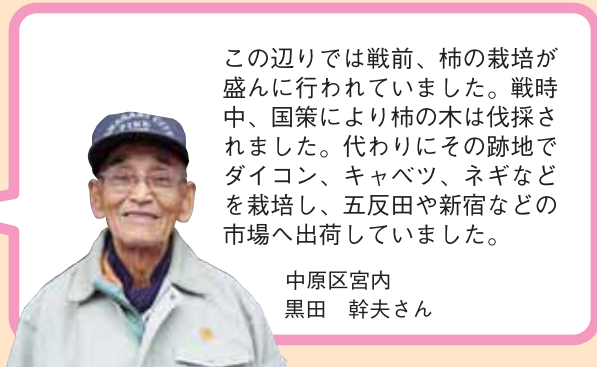
市長 早速拝見させていただきます。

組合長 本日はお忙しいなか、ありがとうございました。

市長 ありがとうございます。今後ますますのJA、組合員皆様のご活躍をお祈りしています。

(文責・広報課)





この辺りでは戦前、柿の栽培が盛んに行われていました。戦時中、国策により柿の木は伐採されました。代わりにその跡地でダイコン、キャベツ、ネギなどを栽培し、五反田や新宿などの市場へ出荷していました。

中原区宮内
黒田 幹夫さん



黒田さんの畑では、近くの富士通の社員食堂から出た残さで作られた堆肥を使ってダイコンや小松菜などの野菜を栽培しています。収穫した野菜は、駅前のスーパーに出荷。「通常の肥料に比べて生育も早く、堆肥特有の臭いもほとんどない」そうです

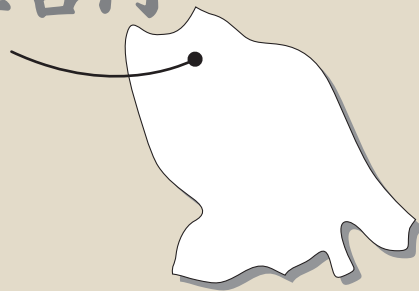


バス停名の由来をさぐる

近年、駅前の再開発が著しく進んでいるJR南武線武蔵小杉駅。今日は南口バス停からバスに乗り、冬ならではの街の風景を楽しみましょう♪
すっかり寒くなってきたなあ…と思いつつながらバスに揺られていると、「次は黄金塚」という車内アナウンスが聞こえてきました。黄金色の塚？新年早々、なんだか縁起が良さそうなので、さっそく下車します。
バスを降りると、近くに「こがね塚」と書かれた灰色の石碑を発見。これが黄金塚なのでしょうか？近所の方に話を伺うと、昔はこの辺りに「黄金塚」と呼ばれる塚があったそうです。塚は多摩川の旧堤防の完成と同時に取り壊され、現在はバス停にのみ名前が残されているそうです。そのまま通り沿いを歩いていくと、「下枿鼻」と

書かれた不思議な名前のバス停を発見。聞き込みを始めると、多摩川の水を防ぐ役割をしていた「枿の鼻」と呼ばれる木枿があった場所に由来しているとのこと。このバス停にも多摩川が関係しているとは今の風景からは全く想像できません。人通りの多いバス通りを外れ、今度は住宅地の中へ。一本通りに入ると、辺りはとても静か。冬の澄んだ空気は、冷たいけれど気持ちいいですね♪良い気分です歩いてみると、鮮やかな紫の屋根のお寺を発見！中を覗いてみると七福神の一人、毘沙門天が祀られています。偶然見られるとは、ラッキー♪さっそくお願い事をしてみました。
みなさんも地元に残る通称や名前を手がかりに、各地域の昔の様子を推測しながら歩いてみてはいかがでしょうか。

中原区宮内



中原区の西北部に位置し、北東部は多摩川に面している。南西部は旧二ヶ領用水を境として上小田中に隣り合う台形状をした地域。昭和40年代から60年代にかけて急激に宅地化が進んでいった。

バス停にのみ残る名前



黄金塚や下梓鼻バス停の通り沿いに、高さ3~4メートルほどの多摩川の旧堤防がありました。その旧堤防の上に、黄金塚と呼ばれる塚があったことに由来しています

多摩川の旧堤防が府中街道と重なる地点に「梓の鼻」と呼ばれた場所がありました。厚い木で梓を作り、多摩川の押し寄せる水を防いだ所が字名となり、現在バス停名として名前が残っています



工場の多さにビックリ!!



機械・電機・食品などの中小工場が密集していました。現在、宮内は中原区内で最も工場が多いそうです



多摩川旧堤防跡の道路（黄金塚バス停近く）



黄金塚跡の石碑



東樹院多間寺



☞ 中原区宮内1-11-1

元旦~7日までの間に参拝し、一年の幸福を願うと、七福神の幸福を授かるそうです。このお寺では煩惱を払いのけ、勝利のご利益があるとされる毘沙門天の像が祀られています

七福神の1人、毘沙門天!



〇〇 いい事が
ありますように...♪〇〇

住宅街に残る畑



県生活文化活動 体験発表会 持田眞弓さん健闘

平成26年度生活文化活動体験発表会が12月12日、JAグループ神奈川ビル内の講堂で開かれ、県内の女性部や役職員約280人が参加しました。

当日は『家の光』など3誌の記事活用や女性部活動を通じた体験を、県下JA女性部員代表12人が発表。当JAからは宮前支部の持田眞弓さんが出場しました。

持田さんの自家農園農産物入りパンは、自家販売とセレスモスへ出荷され、人気の一品。これまでの苦労を通じて「パン作りは生きがい。90歳まで作り続けていきたい」と、夢を抱くまでの体験を発表。惜しくも県代表の座は逃しましたが、会場からは激励を込めた拍手が送られました。

またこの席上で、原副組合長が「普及優良組合表彰」「12月号特別普及運動表彰」を受けました。



「わたしの生きがい」について発表する持田さん

青年組織活動 実績発表大会 森清行さんが優秀賞

関東甲信越地区農協青年組織協議会が主催する平成26年度JA青年部幹部研修会が12月19日、横浜市教育会館で開かれました。

研修会には、同地区の1都8県の青年組織幹部や部員約400人が出席。「JA青年の主張大会」と「活動実績発表大会」の2部門で、農業への思いや各組織の活動について発表し、今後の活動強化を誓い合いました。

当JAからは、青壮年部橘支部の森清行さんが県代表で出場。青壮年部員が5年前から行っているJA新採用職員を対象にした農業体験指導事業について発表しました。

森さんは、同事業を継続してきたことで青壮年部活動が活性化し、JA職員との交流が育まれた成果などを伝えました。

審査の結果、惜しくも最優秀賞は逃しましたが、見事優秀賞を受賞し、会場からは盛大な拍手が送られました。



青壮年部の活動成果を発表する森さん

一足早い 正月気分 GOGO田植えレンジャー収穫祭



JA職員と力を合わせて餅をつき子どもたち

親子で農業を体験するGOGO田植えレンジャーの収穫祭が12月20日、本店で行われ、約50人の参加者が餅つきなどを楽しみました。

GOGO田植えレンジャーは、親子で農作業を体験してもらうことで、農業の大変さと食の大切さを知ってもらおうと、毎年行なわれて

いるもの。全5回の工程では、田植えから収穫まで一連の農作業を体験してきました。

参加者は、6月に自分たちで田植えをした餅米をついて、その場で試食。JA職員が用意したお雑煮やきなこ餅、あんこ餅を食べ、一足早いお正月気分を楽しみました。

JAセレサ川崎 輝かしい新年を祝う 賀詞交換会

平成27年の新春を迎え、賀詞交換会が1月7日、本店セレサホール飛翔で開かれ、支部長をはじめ各組織の代表、行政やマスコミ、関連団体の招待者など、役職員を含め約350人が出席しました。

年頭のあいさつでは、柴原組合長が「農協改革案がまもなく提起される見通しで、予断を許さない状況が続いています。その中でも特に、組合員の利用に関する一定ルール導入については反対の姿勢を貫いていきます。農業・農協を

取り巻く環境がどんなに困難な状況になっても、組合員、JA、職員を守り、皆さんの負託に応えられるよう、役職員が一致団結して愚直に、誠実に、正しくJAを運営していきます」と決意を語りました。

福田紀彦川崎市長をはじめ、県中央会の高桑光雄会長らが来賓を代表してあいさつ。また、毎年恒例となっている花卉部馬絹支部による豪華な正月飾りや登戸古民謡保存会のみなさんが新春の幕開けに華を添えました。



新年のあいさつをする柴原組合長



新春を祝いアトリウムに花卉部馬絹支部による高さ6メートルを超える豪華な正月飾りが展示されました

よい食街頭PR活動 市内産野菜を配布

地産地消を広めようと、県下一斉よい食プロジェクト街頭PR活動が12月17日、J R南武線武蔵溝ノ口駅の連絡通路で行われました。

当JAは、ダイコンやネギなどの市内産野菜に、地産地消とT P Pの概要についてのチラシを入れ、約1,100セットを用意。買い物中の主婦や、帰宅中の学生らに手渡し、市内産農畜産物の良さをアピールしました。



行き交う市民に市内産野菜を配布

あかね会が米粉料理コンテストで健闘

「第2回全国米粉料理コンテスト」の関東甲信越大会が12月13日、長野市で開かれ、料理の味やアイデアを競い合いました。

コンテストには全国から766作品の応募があり、同地区大会では、1都9県から出品された124作品から書類審査を通過した18組が、会場で実際に調理。川崎市の女性農業担い手の会「あかね会」のメンバーが初出場し、「モロヘイヤ入りケーキサレ」を出品しました。審査の結果、惜しくもグランプリは逃しましたが、見事に敢闘賞を受賞。メンバー全員で健闘を称え合いました。



▲敢闘賞を受賞したケーキサレ
◀受賞を喜ぶ「あかね会」のメンバー

第2回加工品品評会 生産者の力作揃う

当JAでは、6次産業化に向け、農産物の加工品の技術向上に力を入れています。こうした中、加工品製造を行っている生産者を発掘するとともに、セレスモスにおいて加工品の品揃えの充実をはかることを目的として、昨年度に引き続き農家の手作り加工品品評会を12月10日、本店で開催。昨年度を上回る出品数となり、生産者の力作が揃う品評会となりました。

品評会には50人の出品者が漬物やみそ、ジャムなど計282点を出品。県農業技術センターの職員と元普及員、横浜地区のふるさとの生活技術指導士の3人が審査にあたり、5つの分類に分けられた加工品を1点ずつ慎重に審査しました。

賞を受賞した出品者は、「自分の加工品が賞を受賞できて嬉しい」と喜び、今後の加工品作りへの意欲を見せていました。



※入賞者はP21をご覧ください

南野川小 収穫祭 感謝を伝え野菜を味わう

宮前区にある南野川小学校で12月11日、児童が育てたブロッコリーの収穫祭が行われました。

児童は、9月に学校内にある教育畑と観察用プランターに苗を植え、病虫害防除や水やりの方法などを学びながら、生育過程を観察、記録してきました。

収穫祭には、3年生85人が参加。児童の代表が、筒井正彦さんらの指導のもと、ブロッコリーを収穫。収穫後、栽培体験にちなんだ物語や歌などを披露し、苗の提供や栽培指導をしてきた生産者やJA職員らに感謝の気持ちを伝えました。

最後に、女性部宮前支部員が準備したシチューで、自分たちが育てたブロッコリーを試食。「いつも食べているシチューよりもおいしい」と、おかわりする児童も多く、みんなで完食しました。



児童と一緒にシチューを味わう筒井さん

生活総合展示会が盛況



多くの来場者で賑わう食品コーナー

「セレス得する市」と銘打った第3回生活総合展示会が12月4日と5日の2日間、本店で行われ、女性部員を中心に500人を超える来場者で賑わいました。

JAが用意した大型バスで各地区から集まった来場者は、気に入ったブースから順に回っていました。

会場内には、米やみそ、県内外の特産品、農作業着などの衣料品、不動産関連の相談コーナーなどを設置。特に年末年始食品コーナーが人気を集めていました。

また、「セレスモス」の出張販売も行われ、多くの来場者が、新鮮な農産物を買って求めていました。

総代研修会 健康につながる食生活など学ぶ

総代研修会が12月11日、本店セレサホール飛翔で行われました。総代やJA役職員ら379人が参加。健康につながる食生活などを学びました。

冒頭、柴原組合長が「TPPや農協改革など、JAを取り巻く環境は依然として厳しい状況ですが、どのような状況におかれても、組合員と約束した事業計画を着実にすすめていきたい」とあいさつ。その後、仮決算結果と主要事業の推移が報告されました。

また、19日に行われた「関

東甲信越地区JA青年の主張・活動実績発表大会」を前に、青壮年部橘支部の森清行さんが、活動実績を報告。続いて、バレーボール解説などで活躍している杉山明美さんが講演を行いました。

杉山さんは、バレーボール選手時代の経験から学んだ、リーダーの存在意義や自信を持つことの重要性を解説。さらに、健康に暮らすため、「たんぱく質をきちんと摂ることが大切」と、食生活のポイントについても話しました。



健康につながる食生活のポイントを解説する杉山さん

講演を聴き入る参加者



禅寺丸柿ワイン組合長と市長へ贈呈

柿生禅寺丸柿保存会は12月12日、同会の水野英雄会長と飯草康男副会長、鈴木勝久副会長がJAと川崎市役所を訪れ、柴原組合長と福田紀彦市長に、2014年産の禅寺丸柿ワインを贈り、出来栄を披露しました。

今回は、5,500本のワインを醸造。12月15日からセレサモスなどで、1本(720ミリリットル)1,420円で販売していきますので、ぜひご賞味ください。



柴原組合長にワインを贈る水野会長と飯草副会長、鈴木副会長

セレサオープンカレッジ修了 市内農業、JA理解深まる

セレサオープンカレッジの最終講座と閉校式が12月6日に行われ、43人が参加しました。

最終講座では、ふるさとの生活技術指導士として活動している麻生区黒川の坂本洋子さんが、みそ造りを指導。その後、閉校式で山本専務が記念品を手渡ししながら「これからもJAファンとして、支援してください」と声をかけ、参加者は「次回も機会があれば参加したい」と、感想を述べていました。

締めくくりとして、多摩区菅馬場の白井正寿さんの果樹園で、みかん狩りを楽しみました。



▲みかん狩りを楽しむ参加者
◀和気藹々のみそ造り



クレイアートで 花の美しさを表現



逸
ITSU
私の好きなこと

樹脂粘土やワイヤーを使い、花や果物などを形作るクレイアート。28年前に偶然立ち寄った展示会で、精巧に作られた作品を見て「私も作ってみたい」と思い、教室に通い始めました。

先生の手ほどきを受けながら、花や葉などを作り上げていきますが、中でも難しいのは花びらに厚みを出すこと。クレイアート用の粘土は、よく伸びて薄くなりやすいため「微妙な力加減で花びらの厚みを表現するのが大変でした」。すべて手作業なので、時間と手間もかかりますが、イメージ通りの

作品ができた時の達成感に、やりがいを感じていきました。

これまでに、100点以上の作品を手掛け、制作にも手慣れた今では、色付けの際に濃淡を付けて陰影を作り、花びらや葉の枯れ具合、曲がり具合などを忠実に表現。細かなところまで工夫を凝らしながら「もっと現実感を出したい」と、作品作りに励んでいます。

花が持つ可憐な美しさと繊細さを表現するクレイアート。「花の美しさを引き出しながら、これからも作品作りを続けていきたいですね」。

PROFILE

ホームステイ受け入れの経験から、英会話も趣味の一つ。外国の方を見掛けては気さくに声を掛け、交流を深めながら英会話を楽しんでいきます。



宮前区土橋
白井志津子 さん



■ ひゅうまん

地域と共生する都市農業を

高津区蟹ヶ谷 萩原 完二さん

宅地化が進み、マンションが建ち並ぶ一角に残る萩原さんの農地。農地を取り巻く環境が様変わりする中、近隣住民との交流や高収益農業を続け、300年続く農地を守り、伝えていきます。

萩原さんが宅地の中にある農地として意識しているのが「綺麗な景観の形成」。丁寧に植栽している畑には草を一つも残さないこだわりを見せ、景観に配慮した農業を実践。また、顔を合わせたらあいさつをするという基本のコミュニケーションや少し傷がついてしまった農産物を振る舞うなど、地域にとって身近な生産者となり、農業理解をはかっています。

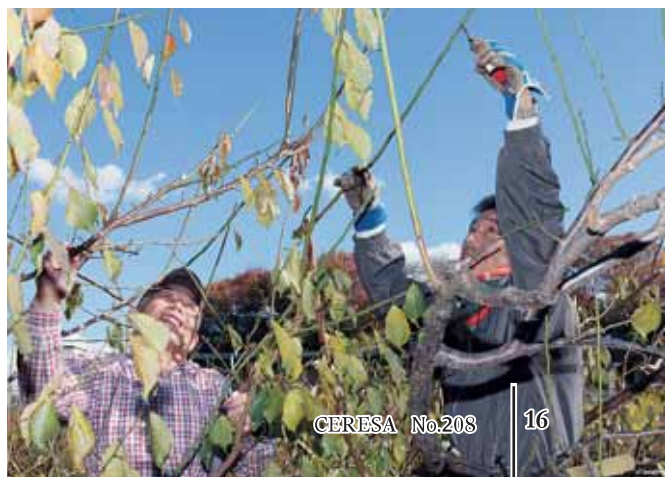
これに合わせて、農業を持続していくために「小さな畑でいかに高収益をあげるか」が重要と考え、生き残るための農業経営を展開。キャベツではなく、レタスや小松菜など回転率の良い農産物で収量を確保。年間を通じた販売ができるような作付けをしています。

現在は、「橘地区の名を高めること」でより多くの人に農産物の美味しさを知ってほしい」と地域生産者一人一人の品質向上にも目を向



けています。果樹部のない橘地区で果樹栽培が盛んに行われるようになったことを受け、植木盆栽部で栽培講習会を実施し、技術向上に努めています。また近隣の新規就農者には自ら栽培技術を伝授。農業まつりの品評会ではお互いに優秀賞を授与するなど、切磋琢磨し合い、地域農業の活性化に取り組んでいます。

「愛情をかけた分だけ人も野菜も応えてくれる」。地域との共生、担い手の育成と、萩原さんの農業は地域にさらなる繋がりと広がりを見せていきます。



市の農産物ブランドの一つ「生田の梅」を守り続けている父の背中を追って8年。就農当初は何をすればよいかも分からず、剪定や防除など父の作業を必死にまねる日々。剪定では、切り過ぎや残し過ぎなど様々な失敗も経験しました。それでも父の指導のもと、少しずつ作業を習得。一連の作業にも慣れてきた4年程前からは、2本の木の管理を全て任されるまでになりました。ある程度の作業はひと通り自分で

『ブランドと我が家の味を守り継ぐ』

味を守り継ぐ

多摩区栗谷 きし 岸 やすのぶ 靖展 さん

こなせる様になったものの、数品種ある梅の違いを見分けることは難しく、梅の収穫時期の判別には、毎年苦労していました。「見た目だけでは分かりにくい梅の収穫順序を明確にし、効率よく作

業したい」。それまで色づけした木の札で品種を区別していたものを、色あせないプラスチック製のものに変更。さらに札に穴を開け、穴の数で品種と収穫する順番が一目で分かるよう改良しました。梅の実を見比べるのではなく、穴の数を確認することで収穫がしやすくなり、父からも「分かりやすく楽になった」と、喜んでもらえました。最近では、栽培管理だけではなく、

「自分たちが育てた梅をより多くの方に味わってもらいたい」と、梅干し作りにもチャレンジ。セレサモスでも売れ行きの良い「我が家の味」を母から教わり「塩分を控えめにしたいのですが、抑え過ぎると傷んでしまい、その加減が難しい」と、試行錯誤を重ねています。母からは、合格点をもたらすようになりましたが、お客さんから「この梅干しを食べたら他のものは食べられない」と、言ってもらえるように励んでいます。「今は新しいことには手を出さず、父が大切に育ててきた『生田の梅』のブランドと母が作り続けてきた梅干しの味を守り続けていきたい」。

中学生時代からサッカーを続け、現在も川崎市のシニアリーグチームに所属して、汗を流しています。

10年程前からは、地元チームのコーチを引き受け「上手い、下手は関係なく、子どもたちにサッカーを楽しんでもらいたい」と、指導にも力を入れています。



ミカン科ミカン属の果物で、インドのヒマラヤ地方が原産。レモンは古代ヨーロッパでは観賞用の植物でしたが、15世紀頃になると食用として栽培されるようになりました。日本では明治初期に渡来した外国人が庭先にレモンの種を蒔いたのが始まりとされています。常温でも数日は持ちますが、より長持ちさせるには密閉式のポリ袋に入れ、冷蔵庫へ。カットしたレモンはラップで包み冷凍保存すれば4週間は日持ちします。

爽やかな酸味が特徴的なレモン。レモンの主な成分は、クエン酸とビタミンCです。特にビタミンCはレモン100g中50mgと、柑橘類の中でもトップクラスの含有量。クエン酸は体内の疲労物質を分解してくれるので、風邪の予防やスポーツ後の疲労回復、二日酔いの改善に効果があります。

また、ビタミンCはシミなどの原因になるメラニン色素の生成を防いでくれます。抗酸化作用もあるので、アンチエイジングやニキビの炎症に効果的です。レモンはサラダやデザート、飲み物、料理の付け合わせなど、和洋中さまざまな料理に活用できます。中でも特に最近注目を集めているのがモロッコやギリシヤ発祥の『塩レモン』。作り方はレモン3個を天然塩50gに浸け、蓋付きの瓶の中で約1ヶ月間寝かせるだけ。手作りの塩レモンのほろ苦さは魚介料理のほか、鶏肉料理にもよく合います。レモンを選ぶポイントは、皮の状態と重さ。皮にハリと弾力があり、鮮やかな黄色でしつかりと重みがあるものを選びましょう。軽いものは果汁が少ないのであまりおいしくありません。また皮にシワや変色があるものも避けましょう。

手羽元のレモン焼き

材料(2人分)

- ・鶏手羽元…8本
- ・塩…小さじ1
- ・レモン汁…大さじ2
- ・こしょう…少々

作り方

- 1.フォークで手羽元に数か所穴を開ける。
- 2.ビニール袋に手羽元を入れ、中に塩、レモン汁、こしょうを加える。
- 3.手羽元に味が染み込むよう、ビニール袋の上からもむ。
- 4.230度に予熱したオーブンで20分焼く。こんがり焼き色がついたらできあがり。



アルストロメリアの切花栽培について

アルストロメリアは南アメリカ原産アルストロメリア科の半耐寒性のある球根性多年草。ユリズイセン、インカリリーとよばれる暖色系の花を咲かせ、花持ち抜群で切花は人気のあるものになっています。



【系統・種類】



■虎斑（タイガースポット）あり…ハイブリッド系、オーキッド系、カルメン系、パタフライ系

■虎斑なし…リグツハイブリッド系

■花色…黄、橙、赤、桃、赤茶、複色、複輪花

【栽培準備】

過湿による根腐れが発生するので排水のよい所を選び、事前に土壤消毒をしておきます。8月下旬または2月中旬、塩分の少ない完熟堆肥等を200kg、磷酸肥料を6~7kg/a当り施用しておきます。耐塩性がないので、元肥は磷酸のみです。植付けには床幅100cm、高さ10cm、通路幅60cm、耕土50cmの畦を作ります。

【種苗の確保】

一般的には球根性の株か、またはプラグ苗を種苗メーカーから購入します。

購入時には罹病株を除去し、トップジンM水和剤を1,000倍の希釈液に10分浸漬処理します。

【定植】

定植時期は株分け時期と重なりますが、年2回あって3月と9月です。

定植間隔は畦間50cm×株間30cmの2列植えで、植付けの深さは塊根の発芽部が10~15cmになるように植えます。

【栽培管理】

植付けが50cm×30cmなので、これをカバーできるようにフラワーネットを2段用意して倒伏しないように張るか、または4~5月に支柱を立てます。

多肥を好む一方、ECが低めなので、追肥は3月と5月に緩効性肥料を少なめに施用します。

【病害虫】

■根茎腐敗病、白絹病、疫病の発生対策 → 土壤消毒

■灰色かび病が発生しやすい → 予防を含め、薬剤散布

■害虫ではアザミウマ、オンシツコナジラミが発生しやすい → 薬剤散布

【収穫・調整】

3~4輪開花し始めたら地際の上を残して切ります。下葉を取り、市場出荷は10本を1束として、10束を1梱包とします。エチレンの発生するところでの調整や水揚げ管理は避けましょう。

【栽培暦】

月旬		1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
主作業	春植え						x			...	x																										
	秋植え																									x		...	x								

×:定植 □:収穫期間

※JAでは、本欄で執筆している営農技術顧問による営農相談コーナーを開いています。病害虫被害の場合は、被害作物もご持参くださると助かります。開催日は22ページをご参照ください。

◆ウイルス(感染症)から身を守るには◆

ウイルスにより起こる感染症は、インフルエンザやノロウイルスによる食中毒、ウイルス性肝炎、ロタウイルス胃腸炎などがあります。

まずインフルエンザですが、特にお年寄りには肺炎などを合併して重症化する危険が多いので、流行が始まる前に、ワクチン接種を受けることが重要です。インフルエンザ感染の予防のためには、感染者のせきやくしゃみによって飛沫(ひまつ)を吸い込まないように「マスクの着用」「うがい」「手洗い」が有効です。

ノロウイルスは冬に多く、強い吐き気、嘔吐(おうと)、下痢、腹痛などを引き起こす感染症です。ウイルスをやっつけるには加熱が最も有効なので、冬の食事は必ず加熱をすることです。カキの生食は避けた方が無難です。

ウイルス性肝炎で特に注意が必要なのは、B型肝炎とC型肝炎です。B型肝炎の主な感染経路は性交渉や母子感染などです。無症候性キャリア(症状がなくウイルスを持っている人)の場合、将来、慢性肝炎や肝硬変、肝がんが起こる可能性があり、定期的な検査が

お詫びと訂正

本誌207号「くらしNAVI」の記事の中で、「この季節に多くなる「誤嚥」、は誤りで、正しくは、「事故の中でも多いお餅による窒息など、この季節と関連の深い「誤嚥」、です。お詫びして訂正します。

必要で早期診断が大切です。C型肝炎は、以前は輸血による感染が多かったのですが、現在は検査体制が整備され、新たな感染は減っています。

ロタウイルス胃腸炎は、乳幼児に激しい下痢や嘔吐を起こす病気で、特に白色の下痢便が続くのが特徴です。ロタウイルスは、低い温度や湿度を好むため、日本では毎年冬期に発症し、特に2、3月に流行が見られます。脱水を予防するために、水分はこまめに少しずつ、母乳やミルクはそのまま与え、また電解質を補うことも必要です。この病気の予防には、経口型のワクチンが用意されています。



(佐久総合病院名誉院長●松島松翠)

2月の運勢

モナ・カサンドラ

おひつじ座 3/21~4/19

【全体運】趣味や習い事を通じて人脈が広がりそう。オフ会などの誘いに気軽に応じて。メール交換にも発見が【健康運】不規則な生活を改善すれば体調も好転【幸運を呼ぶ食べ物】白菜

おうし座 4/20~5/20

【全体運】慎重になりすぎる傾向が。失敗を恐れず開き直りの気持ちを大切に。持ち物の整理で開運効果大【健康運】ストレッチで体をほぐし、調子回復【幸運を呼ぶ食べ物】野沢菜

ふたご座 5/21~6/21

【全体運】自分から積極的に動いた方がチャンスを掴めます。やりたいことには挑戦を。遠出の旅も◎【健康運】暴饮暴食に気を付けて。栄養に配慮【幸運を呼ぶ食べ物】アオヤギ

かに座 6/22~7/22

【全体運】何かとおっくうになる暗示。約束をドタキャンしないように。気力アップには植物を飾って【健康運】散歩などの運動を心掛けるのが正解【幸運を呼ぶ食べ物】フキのとう

しし座 7/23~8/22

【全体運】気まぐれになりがち。やると決めたら最後まで貫く意志の強さに磨きをかけて。苦手克服に励むのも◎【健康運】寒さ対策万全で、ホットな冬を【幸運を呼ぶ食べ物】デコポン

おとめ座 8/23~9/22

【全体運】周囲の嫌な面が目につきやすいかも。長所を見るように意識すると運気好転に。読書も気晴らしに【健康運】極端なダイエットは×。ほどほどに【幸運を呼ぶ食べ物】ハマグリ

てんびん座 9/23~10/23

【全体運】前向きな気持ちになれる月。保留になっていた事柄に再トライすればスムーズに動き始める予感【健康運】疲れをため込みがち。無理は控えること【幸運を呼ぶ食べ物】長ネギ

さそり座 10/24~11/22

【全体運】おせっかいになりやすい時期。人の行動に口出しして、トラブルを招かないように。見守る気持ちを大切に【健康運】快適に過ごせそう。ぜひ運動を【幸運を呼ぶ食べ物】ワラビ

いて座 11/23~12/21

【全体運】好奇心旺盛になり、さまざまなことに興味を感じるはず。体験教室に注目を。ウィンドーショッピングも刺激大【健康運】けがに注意。冷静に【幸運を呼ぶ食べ物】シラウオ

やぎ座 12/22~1/19

【全体運】プライベートを充実させる好機。得意な作業に打ち込めば手応えを感じそう。勉強に励むのも吉【健康運】良質な睡眠を目指す体調に好変化が【幸運を呼ぶ食べ物】アンコウ

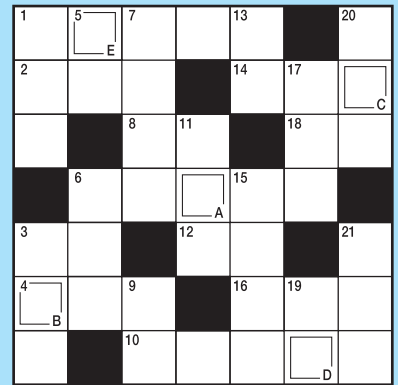
みずがめ座 1/20~2/18

【全体運】強運に恵まれている期間。自信を持って自己アピールして。温めていたプランを実行に移すのもお勧め【健康運】食べ過ぎて太る心配が。運動を【幸運を呼ぶ食べ物】ヤリイカ

うお座 2/19~3/20

【全体運】穏やかな心境で過ごせます。サポート上手になり対人運は上々。近場の温泉でほっこりするの◎【健康運】のんびり構えれば体調に良い影響が【幸運を呼ぶ食べ物】レンコン

クロスワードパズル



タテのかぎ

- ①最低気温が0度未満の日
- ③武士の命ともいわれた刃物
- ⑤応用に移る前にしっかりと
- ⑥全身真っ黒な鳥
- ⑦中央競馬を監督するのは、___水産省
- ⑨西を向いたときの右手の方向
- ⑪べこりとへこんだ所
- ⑬ホルスタイン、ジャージーといえば
- ⑮趣味と___を兼ねた仕事
- ⑰応接室に似合う長いす
- ⑲けがが完全に___した
- ⑳タイヤに穴が開いちゃった
- ㉑大金持ちのこと。アラブの大___

ヨコのかぎ

- ①早春に顔を出すフキの花茎
- ②車などで人や物を運ぶこと
- ③ピスタチオを食べるときむきます
- ④駅伝の選手がつなぐもの
- ⑥東南アジアの国。首都はプノンペン
- ⑧地球表面のおよそ3割を占めます
- ⑩ピンポンともいうスポーツ
- ⑫花を回ってチョウが吸う物
- ⑭子芋がたくさん付くことから、サトイモは___繁栄の縁起物です
- ⑯旧国名の一つ。ここと佐渡が現在の新潟県です
- ⑱鬼は外、___は内

11月号のこたえ

ジョヤノカネ



応募総数 40通

当選者5人の発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。*住所・氏名等の記入忘れがある場合は正解しても無効となりますのでご注意ください。



◆春菊大好き◆

私は春菊が大好きだけど、周りは嫌いな人が多い。ミネラルが色々含まれているって教えてあげます。(麻生区・北原さん)

◆7区の味◆

11月号の特集を楽しく読ませていただきました。お正月には、7区の味を楽しみたいと思います。(川崎区・田辺さん)

◆ラにも動き出しそう…◆

多摩区三田の今野正征さんの畑で、人の形をしたダイコンがとれました。



◆おせち料理◆

我が家では妻の手料理で正月を迎えます。おせち料理も全て手料理です。娘もその味を受け継いでいます。ただ、きんぴらだけは私の担当で、年末にサツマイモを裏ごしする苦労は本当にしんどいです。でも、美味しいですよ！(多摩区・河崎さん)

◆美男子でした◆

我が家にホームステイしていたイタリア人に、第一子が誕生しました。鼻が高くて美男子でした。(中原区・佐藤さん)

◆大賑わい◆

東柿生支店駐車場で12月17日、野菜の即売が行われ200人以上の来店者で賑わいました。



◆冬まつり◆

北加瀬山崎町内会の冬まつりが12月28日に行われ、JA経済センターから仕入れたもち米を使い、もちつきを楽しみました。また、市内産野菜の即売も行われ、地域の方々に好評でした。



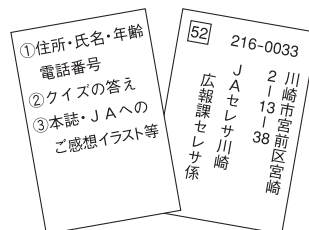
◆投稿のお礼◆

たくさんのお便りありがとうございました。これからも感想お待ちしております。(JA広報課)

応募方法

■このコーナーでは身近なできごと等、皆さまからお便りをお待ちしております。お便りをいただいた方およびクイズにお答えいただいた方の中から抽選で5人の方に図書カード1,000円分をプレゼントします。送付方法は、郵送で、住所、氏名(匿名の方はペンネームを添えて)、年齢、電話番号、を入れて右記まで送付してください。写真の掲載をご希望される方は、プリントを封書でご送付ください。*匿名を希望される場合は必ずペンネームをお書き添えください。個人情報保護法に基づき、応募された方の個人情報は賞品発送以外には使用しません。

◎締切 2月17日(火)必着



お寄せ頂いた感想、イラスト等は本誌で掲載することがあります。

ディスクロージャー誌の記載内容の訂正について

平成26年6月に作成いたしました平成26年版ディスクロージャー誌の記載内容に一部誤りがございましたので、お詫び申し上げます。

なお、訂正後の内容は当JAホームページにて掲載しております。

【P.83】5.直近の2連結会計年度における財産の状況

- ①連結貸借対照表「負債の部」
- 4.雑負債の金額 3,668→1,807
- 5.諸引当金の金額 532→2,392
- 5.諸引当金の科目・金額追加
- ③退職給付に係る負債 1,860
- 5.諸引当金の番号変更
- ③役員退職慰労引当金→④役員退職慰労引当金

残農薬1,254kgを回収

JAでは12月8日、宮前区のセレサモス宮前店建設予定地と麻生区の黒川営農団地管理倉庫で、残農薬1,254kgを回収し、適正に処理しました。



農業機械展示予約会のお知らせ

2015農業機械展示予約会を行います。当日は、ミニ講習会として「農作業安全」「セルフメンテナンス」など、営農に役立つ情報をご紹介します。皆さまのお越しをお待ちしております。

【開催日時】平成27年2月6日(金)～7日(土)
両日ともに9:00～15:30

【開催場所】JA全農かながわ 平塚市田村4-13-4

【お問い合わせ】JA経済推進課 TEL044-855-3561

JA全農かながわ農機・自動車課 TEL0463-53-1565

また2月7日(土)には、JA利用者限定の中古農機販売会(入札方式)も行います。

【入札受付】9:00～11:30 【入札発表】12:00より

振り込め詐欺未然防止で感謝状



振り込め詐欺による被害を未然に防いだことで12月19日、柿生支店の松浦圭祐職員(写真右)に麻生警察署より感謝状が贈られました。JAでは、今後も詐欺被害の未然防止に努めてまいります。

県共済書道コンクール市内14作品が入選

JA共済神奈川県小・中・高校生書道コンクールの表彰式が1月6日、平塚プレジールで行われました。

表彰式を前に市内入選者がJA本店に集まり、柴原組合長が記念品を贈り、その栄誉を称えました。

コンクールには、県下の小・中・高校生を対象に545校から3,517作品の応募があり、市内参加校107校、509作品、内14作品が入選しました。



表彰式に参加した市内入選者

晴れの入賞者

敬称略()内住所

そ菜部幸中原支部小松菜・ほうれん草立毛共進会

12月2日 市内巡回 出品点数5点

▽特選＝小松菜・井上荘一(上新城)

▽入選＝小松菜・大熊久夫(宮内)

平成26年度農家の手作り加工品品評会

12月10日 本店1階102会議室 出品点数282点

▽優秀賞＝ジェノバパースト・小泉ふさ代(平)、白瓜の粕漬・越畑隆子(黒川)、梅干2点・森孝子(久末)、自家製みそと夏みかんピール・森そめ代(同)、ゆずジャム・山田美智子(岡上)、切干し大根・新堀智恵子(南加瀬)

**組織
だより**

原支部(日吉地区)

幸区南加瀬3～5丁目の一部が支部の範囲。昭和35年頃までは稲作や野菜栽培、ビワやモモなどの果樹栽培が盛んに行われていました。現在では、マンションや商業施設などが建ち並び、地区内の多くは住宅地となっています。支部では、町会の祭礼や敬老会の行事に協力するほか、初午祭を企画するなど、地域住民との交流を積極的に行っています。



組合員戸数は19戸。三橋宏一支部長は、年1回の研修旅行で、部員の親睦に努めています。

※次回は稗原支部(向丘地区)と東有馬支部(宮前地区)です。

馬場支部(菅地区)

菅馬場1丁目と2丁目の一部が支部の範囲。三沢川と府中街道、二ヶ領用水に挟まれるように位置しています。かつては、米作りやモモ、ナシなどの果樹栽培が盛んに行われ、田畑の広がる緑の豊富な地域でした。昭和の後半頃から開発が進み、田畑は次第に減少していきましたが、今でもナシや野菜の栽培が行われ、直売所で販売されています。



組合員戸数は24戸。上原和政支部長は、年1回の研修旅行で、支部の結束を深めています。

JAからのお知らせ

◇理事会だより◇

☆第9回定例理事会…12月16日(火)
本店で開催【報告事項】平成26年度第2回総代・組織リーダー研修会…2月4日(水)15時～、本店セラサホール飛翔にて開催。経済ジャーナリスト財部誠一氏による講演を実施。平成27年度「セラサまわり会の集い」…7月8日(水)川崎市麻生市民館、16日(木)、17日(金)川崎市高津市民館、27日(月)、28日(火)川崎市総合福祉センターにて開催。1回目：12時～14時、2回目：15時～17時、各会場とも1日2回公演し、芸能人による演芸ショーを実施する。第18回女性部連絡協議会大会・家の光大会…3月6日(金)13時～15時半まで、本店セラサホール飛翔にて開催。貴乃花部屋女将の花田景子氏を招き、「母として、妻として、女将として」と題して講演を実施。平成26年度生活総合展示会「第3回得する市」結果報告について…〈来場者数〉527名〈売上額〉7,812,518円。他16項目を報告。【協議事項】新新城支店建築…〈建築地〉川崎市中原区新城1丁目10-17※現新城支店敷地。他10項目を協議決定。

セラサのDATA

貯金	1兆3,615億円
貸出金	5,271億円
長期共済保有高	1兆6,287億円
年金共済保有高	324億円
購買品供給高	768百万円
販売品取扱高	626百万円
施設事業契約高	84億 58百万円
組合員数	61,225人
うち正組合員	5,795人
准組合員	55,430人
	(12月31日現在)

営業時間のご案内

☆支店窓口…平日9:00～15:00
☆A T M…平日8:00～21:00、土日祝9:00～19:00、(セラサモスは、営業時間内の稼働)
☆経済センター店舗…平日・土日9:00～16:30(月末12:00)※祝日は休み
☆セラサパーシモン…平日・土日9:00～16:30(月末15:00)※祝日は休み
☆セラサモス…11月～3月10:00～17:00(定休日：水曜・年末年始ほか)※節電対策により、営業時間が一部変更になっております。

2月の営農相談コーナー

☆J A 経済センター(宮前区有馬2-13-1)…4日(水)、6日(金)、13日(金)、18日(水)、20日(金)、25日(水)
☆セラサパーシモン(資材店舗：麻生区片平2-30-15)…3日(火)、5日(木)、10日(火)、12日(木)、17日(火)、19日(木)、24日(火)
時間：9:00～16:00
相談員：J A の営農技術顧問
その他：予約は不要です。

2月の経営相談日(法律)

3日(火) 9:30～11:30 高津支店
13:30～15:30 中原支店
10日(火) 13:30～15:30 みなみ支店
17日(火) 9:30～11:30 橘支店
13:30～15:30 中原支店
24日(火) 13:30～15:30 稲田支店
28日(土) 9:30～11:30 梶ヶ谷ビル
相談時間は原則30分程度。要予約。予約は相談日の前営業日16:00までに各会場支店の総合相談担当・梶ヶ谷ビルは本店資産相談課まで。予約のない方は、予約者の相談終了後となります。

2月の年金無料相談会

1日(日)日吉支店(※)
3日(火)橘支店(※)
5日(木)稲田支店(※)
8日(日)みなみ支店(※)
10日(火)宮崎支店
12日(木)小杉支店
17日(火)大島支店(※)
19日(木)新百合丘支店(※)
22日(日)野川支店(※)
24日(火)菅生支店
26日(木)小向支店(※)
予約は開催支店まで。但し※は事業推進部(TEL877-2140)まで。
◇年金・社会保険セミナー
15日(日)10:00～12:00 菅生支店
14:00～16:00 高津支店
参加ご希望の方は事業推進部までご連絡ください(予約優先)。※定員になり次第締め切らせていただきます。

2月・3月の休日住宅ローン相談会

2月28日(土)小田支店、元住吉支店、野川支店、菅生支店、栗平支店
3月1日(日)小向支店、北見方支店、宮前支店、千代ヶ丘支店
時間は9:00～15:00
各会場支店または下記ホームページからご予約のうえ、ご来場ください。予約がない方はお待ちいただくことがございます。

2月のセラササロン

5日(木)中原支店
会費：1,400円
25日(水)生田支店
会費：1,000円
★高津会場は生きがい活動とタイアップをして開催します。
対象：おおむね60歳以上の方
ご参加の方は事前にご連絡をお願いします。お問い合わせ・お申し込みは本店生活福祉課まで。TEL877-2509

セラササービスのご案内

セラササービスはまごころを込めたご葬儀をご提案し、ご奉仕でお応えしています。当社は川崎市内で唯一のJ A が100%出資している葬祭センターです。
危急のご連絡・ご相談は下記のフリーダイヤルまで。
フリーダイヤル みおくる ところ
0120-3096-56
(24時間受付・年中無休)
<http://www.ceressa-service.co.jp>

2月の遺言信託個別相談会

4日(水)みなみ支店
・開催時間…9:00～16:00(昼1時間休憩)
・相談員はJ A 神奈川県信連の財務コンサルタント
・相談時間は原則1時間半まで
・ご相談無料・予約制・秘密厳守
・ご予約は、相談会開催日の前々営業日16時までにお近くの支店まで。
※開催日に都合がつかない場合は、日程調整のうえ、お近くの支店で個別相談にも応じますので、お気軽にお問い合わせください。
※J A 神奈川県信連 信託代理店
J A セラサ川崎本店事業推進部
＜044-877-2140＞当J A が行う遺言信託代理業務は契約締結の媒介です。



2月のセラサモス行事予定

☆出張販売
5日(木)11:00～ 御幸支店
19日(木)11:00～ みなみ支店
※荷がなくなり次第終了となります。
☆毎月第3金曜日は「お米の日」
☆セラサモスの駐車について
麻生警察署からの指導により、駐車場への路上待機は一切できません。
☆セラサモスでは、毎月各種イベントを開催しています。詳しくは下記ホームページをご確認ください。



菅支部
民謡グループ



約40年続く民謡グループには、60代〜80代のメンバーが所属。日本古来の民謡に魅了され、月2回の活動に熱心に取り組みます。
8人という少人数のため、メンバー全員が家族のように仲よし。年に一度の新年会のほか、練習後にお菓子タイムを設けることで親睦を深めています。

抑揚やリズムの取り方が難しい民謡ですが、疑問点をメンバー同士で共有したり、先生にアドバイスを求



めるなど研究に余念がありません。その甲斐もあって、女性部のお楽しみ会や総会などの本番は常に大盛況。
「お客さんからの『よかったよ』の一言で次も頑張ろうと思える」と、練習にも一層力が入ります。
「これからも民謡の良さをより多くの人に知ってもらいたい」と強く語るメンバーたちの表情は、力強い意志と笑顔で満ちあふれています。

Dish Up!

材料 (4人前)

- ・キュウリ…2本
- ・セロリ…1/2本
- ・タマネギ…1/2個
- ・カブ…3個
- ・サーモン(刺身用)…5切れ
- ・塩、酢…適量
- ★ レモン汁…大さじ6
- ★ 砂糖…大さじ3
- ★ 塩…小さじ1/2
- ★ 醤油…小さじ1



サーモンなます

作り方

①キュウリは薄切り、セロリは筋を取って小口切り、カブは皮をむいて薄切りにする。切ったらボウルに入れて塩でもみ、水気を絞る。



③サーモンは一口大に切り、酢を少々ふる。



②タマネギは半分に切って薄切りにする。塩でもみ、水にさらしてから水気を絞る。



④①、②、③を合わせ、★を混ぜてできあがり。

ワンポイントアドバイス

川崎区小田 五十嵐光子 さん
ダイコンとニンジン酢で和えた一般的ななますではなく、今回はレモン味で食べやすい洋風のなますです。材料をカットして混ぜるだけなのでとても簡単。ぜひお試しください。

